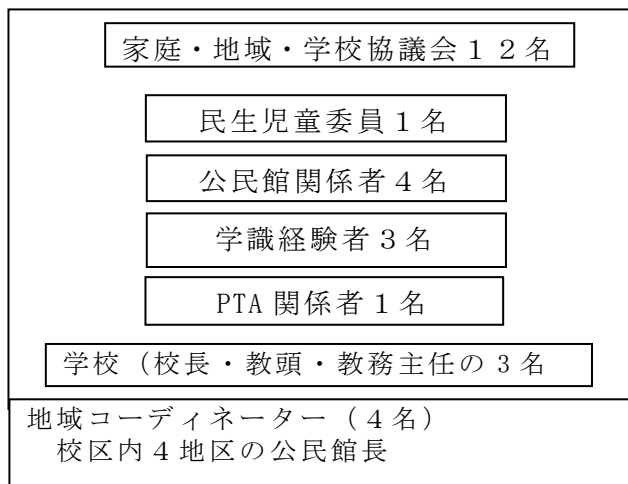


地域と進める体験推進事業実績報告書  
『東陽地区活性化プロジェクト』

鯖江市東陽中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- |                                                  |
|--------------------------------------------------|
| ① 開催回数 2回                                        |
| ② 開催日程および内容                                      |
| ・ 5月29日<br>学校経営ビジョンの説明<br>活動計画、意見交換、授業参観<br>給食試食 |
| ・ 2月19日<br>保護者、生徒、職員の学校評価報告<br>次年度の取り組みについて      |

(3) 協議会における成果と課題

協議会の構成員が地域での生徒の様子を間近に見る機会が多く、学校側の考えもよく理解したうえで適切な助言と支援をいただいている。学校外との連携を密にして、様々な資源を学校教育に生かしていきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

○地域の方々と協力しながら地域貢献を進めることで、ふるさとに対する理解を深め、ふるさとに対する愛着を高める。

○体験活動を通して、地域の課題等に気づき、よりよくふるさとに関わろうとする意欲を育てる。

①桜プロジェクトⅠ（2，3年生）

29年度に立ち上げた「桜の植樹プロジェクト」をさらに進めた。昨年までに植樹した各地域の小学校や公民館など以外に植樹したい場所を生徒会本部で話し合い、コーディネーターである公民館長さんと相談をした。「桜の苗木をお譲りします」という内容のチラシを公民館に置いて広報することで、10月には高年大学に4本植樹できた。また、昨年までに植樹した木に添え木を設置した。今後さらに検討し新たな植樹を行いたい。

②桜プロジェクトⅡ（1，2，3年生）

3年生が1年生の時に中心となって取り組んだこの活動を、学校全体に広げ、持続可能なものとするために何ができるかを生徒会本部で話し合った。



その結果次の2点を実践した。

1つは委員会がある日の放課後、各委員長が小学校区の桜の木の状況を確認するために写真を撮り、水やりをすることである。この活動は、夏休みには奉仕委員会に受け継がれた。また、教職員の方で消毒を行った。

もう1つは、桜を植樹した場所を含めた地域全体のクリーン活動を生徒会行事として行うことである。小学校や公民館以外に、生徒から意見の出た神社や道路などからコーディネーターと相談をして、15の場所を選定した。活動当日は、生徒会本部の出発式の後、それぞれの校外班ごとに割り当てられた活動場所に自転車で移動し、除草、落ち葉拾い、ゴミ拾い、ガラス拭きなどの作業を行った。作業時間は1時間程度であったが、桜の木の生長を確認したり、活動場所がきれいになることに喜びを感じたりと、身近な地域のことを考える充実した時間となった。



### ③さばえの魅力発見プロジェクト（1年生）

歴史、文化、産業などから鯖江について知りたい具体的なテーマを班ごとに考えた。「めがね」、「遺跡」などの他に「漆器」、「お面様」、「山うに」、「川島ごぼう」など、ごく身近な地域のテーマがあげられた。生徒はテーマを調べるための訪問先を考え、質問内容を決定し、電話で担当者をお願いをして、取材を行った。その後、班ごとに資料を作り学級と学年で発表した。この活動を通して、地域のよさを再発見でき、地域への愛着が高まった。

### （3）地域コーディネーターの活動概要

桜の植樹やクリーン活動において、場所決定や関係地区住民との連絡調整を行っていただいた。

### （4）特に工夫した事項

生徒主体の活動にするには、どのような手立てが必要かを考えること

### （5）成果と課題

成果は地域をより深く知り、地域のために役立ちたいという気持ちが高まったことである。そのおかげで、ボランティアとして片上公民館の花壇作りに参加する生徒も増えてきた。

課題は植樹、クリーン活動や今後生徒の発想から出てくる活動が、より生徒の主体的な活動となるような手立てを工夫することである。